

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	研究ゼミナールA (Seminar of Study A)		
ナンバリングコード	P31701	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 前期
必修・選択区分	必修		
授業コード	P170101	クラス名	赤星研究室
担当教員名	赤星 哲也		
履修上の注意、履修条件	卒業研究に着手する前に必ず受講してください。 卒業研究に着手するために必要となる基礎知識・スキルを修得する科目です。自ら学ぶことを心がけ、積極的に取り組んでください。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	備考欄を参照してください。		
関連科目	卒業研究、研究ゼミナールB、プログラミング基礎、アルゴリズム、文章表現基礎講座		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	次の2項目を扱います。 (1)卒業研究を行う上で必要となるプログラミング・スキルの修得 (2)卒業研究を行う上で必要となるアカデミックライティング・スキルの修得
授業の概要	授業では毎週、次の2つの内容を実施します。 (1)卒業研究を行う上で必要となるプログラミング・スキルの修得 研究室で主に使用するプログラミング言語「Python」に関する教材を輪読しながら、プログラミング演習を行います。学生は教材の各担当部分の予習を行い、授業時に解説を行います。解説の内容にもとづき、各学生は自らのパソコンでプログラミング演習を行います。疑問や難解な点については、教員も交えて討論しながら理解を深めていきます。 (2)卒業研究を行う上で必要となるアカデミックライティング・スキルの修得 情報の集め方、文献の読み方、各種ライティングの手法、結果のまとめ方、統計分析等を演習形式で学修します。
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」 (2)複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3)アクティブ・ラーニング 対話・議論型授業(グループディスカッション・ディベート) 他
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	・企業の研究所(トッパン・ムーアシステムズ株式会社)にて、自然言語処理分野の研究開発(ハイパーテキスト)に従事。 ・テクニカルライターとして、コンピュータ関連技術書6冊出版。コンピュータ関連商業誌に記事多数寄稿(学研、日刊工業新聞社、アスキー他)。地元新聞紙にコンピュータ関連記事連載(大分合同新聞 2連載・計218回)。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①プログラミング教材の担当部分を予習し、他の学生に説明するための資料の作成に取り組む。 ②アカデミックライティング教材の課題の作成に取り組む。			15点
【知識・理解】	①プログラミング教材の内容を理解している。 ②アカデミックライティングの各種手法を理解している。			25点
【技能・表現・コミュニケーション】	①プログラミング教材の内容を理解し説明できる。 ②アカデミックライティング教材の課題を作成できる。		35点	
【思考・判断・創造】	アカデミックライティングの各種手法をどのように使用すればよいか判断できる。			25点
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) 提出物の評価は以下の基準で評価し、35点満点に換算して評価を行うとともに、次回以降の授業で講評を行う。 [Sレベル]到達目標を満たしている。 [Aレベル]到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]到達目標を一部満たしている。 予習・復習・授業中の取り組み、欠席・遅刻、課題の提出状況を総合的に判断して、無形成果として65点満点で評価する。 以上を合計した評点(100点満点)をS~Eとして評価する(各ランクについては学生便覧を参照)。				

○その他
(参考書) 「18歳からの『大人の学び』基礎講座: 学ぶ、書く、リサーチする、生きる」 北大路書房 「Good Writingへのパスポート」 ころしお出版(¥2,000 2014) 「心理学の卒業研究ワークブック」 金子書房(¥2,500 2015) 「改訂新版 心理学論文の書き方」 河出書房新社(¥1,800 2016)

